

甲府市立西中学校・・・12月10日（火）訪問

訪問者：井坂 健一郎

甲府市立西中学校は、昭和12年4月に甲府市立男子高等小学校としての創立にはじまり、昭和22年4月に甲府市立西中学校として開校しました。現在の全校生徒数は379人です。「知を磨き、豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、「一人一人の学力を保証し、願いや夢を実現できる学校」、「自他を尊重し、望ましい人間関係を醸成する学校」、「家庭や地域の教育力を取り入れ、子どもの成長をサポートする、地域と共にある学校」を目指しています。

今回は、芸術身体教育コース美術教育系3年の弘内那乃映さんが、特別支援学級の「書写」の授業で教育ボランティアとして活動しているところを訪問しました。弘内さんが一人一人の生徒に寄り添いながら、個に応じた支援をしている様子が随所に見られました。生徒たちも弘内さんの支援に対してとても喜んで授業に臨んでいました。そのような教育ボランティア活動での姿勢が西中学校でも評価されています。



生徒に寄り添って学習支援をする弘内さんの様子

【教育ボランティア学生インタビュー】

「教育ボランティアをやってみようと思ったのはなぜですか？」

○教師を目指す上で大学での学びだけでなく、現場で教師が働いている様子や生徒の様子を知っておく必要があると感じたため。

「教育ボランティア活動に参加してみて、教職を目指す気持ちに変化はありましたか？」

○教師になるためのステップとして教育ボランティア活動をしていたので、なりたいという気持ちには変わりはない。自分が教師になった時、どんなふうに対応しようかなと想像し目標や今後自分がやるべきことが明確になった感じがしている。

「これから教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイスは？」

○学生のうちに教育現場に携われる貴重な機会だと思います。自分のなりたい姿について考えながら活動すると力に繋がると思うので、目標を持って活動してみましょう！

【中込 幸雄教頭先生のお話】

本校では、数年前から大学生の皆さんが教育ボランティアとして関わってくれています。昨今、特別支援教育へのニーズも大きくなり、今まで以上にきめ細かな支援を求められる中で、本校でも、学生ボランティアさんに特別支援学級に多く関わってもらい、生徒との関係を築きながら学習面だけではなく心理面でも支援をしてもらい、たいへん助かっています。

また、教員を希望する人が減少傾向にある中で、学生のうちから長いスパンで定期的に学校現場に関わることは、教育実習とは異なる視点での気づきにもつながり、今後の進路を決める上で大きな経験になっていると思います。学校現場で学ぶ機会を、今後も活かしてください。

教育ボランティア活動を受け入れ、様々なご配慮をいただいている西中学校の先生方に感謝いたします。また、当日はお忙しいところをご対応くださった教頭の中込幸雄先生にあらためて御礼申し上げます。